

稲井地域乗合タクシー 「いない号」





稲井地区の状況

- ・ 人口 6,014人 (H20.4月現在)
- ・ 世帯数 1,864世帯
- ・ 高齢者人口 1,574人
- ・ 高齢化率 26.2%
- ・ 自然条件 農村地帯
市内中心部まで約20数^キ。
- ・ 交通環境 JR石巻線「稲井駅」
バス(石巻専修大学線)



バス廃止の経緯

- ・ 平成9年9月30日
路線バスの廃止(4条)
- ・ 平成9年10月1日
市が宮交バスへ委託(21条)
廃止代替バスの運行開始
- ・ 平成16年11月30日
市の廃止代替バスの廃止



乗合タクシー導入経緯

- ・ H15.10月 廃止代替バスの廃止について
- ・ H15.12～H16.1月
全世帯対象のアンケート調査の実施
- ・ H16. 4月 稲井地区区長会(全18行政区)
地区の会合などにより意向確認
- ・ H16. 7月 再編案について
- ・ H16. 8月 乗合タクシーの導入について
- ・ H16. 9月 稲井地域乗合タクシー運行協議会設立



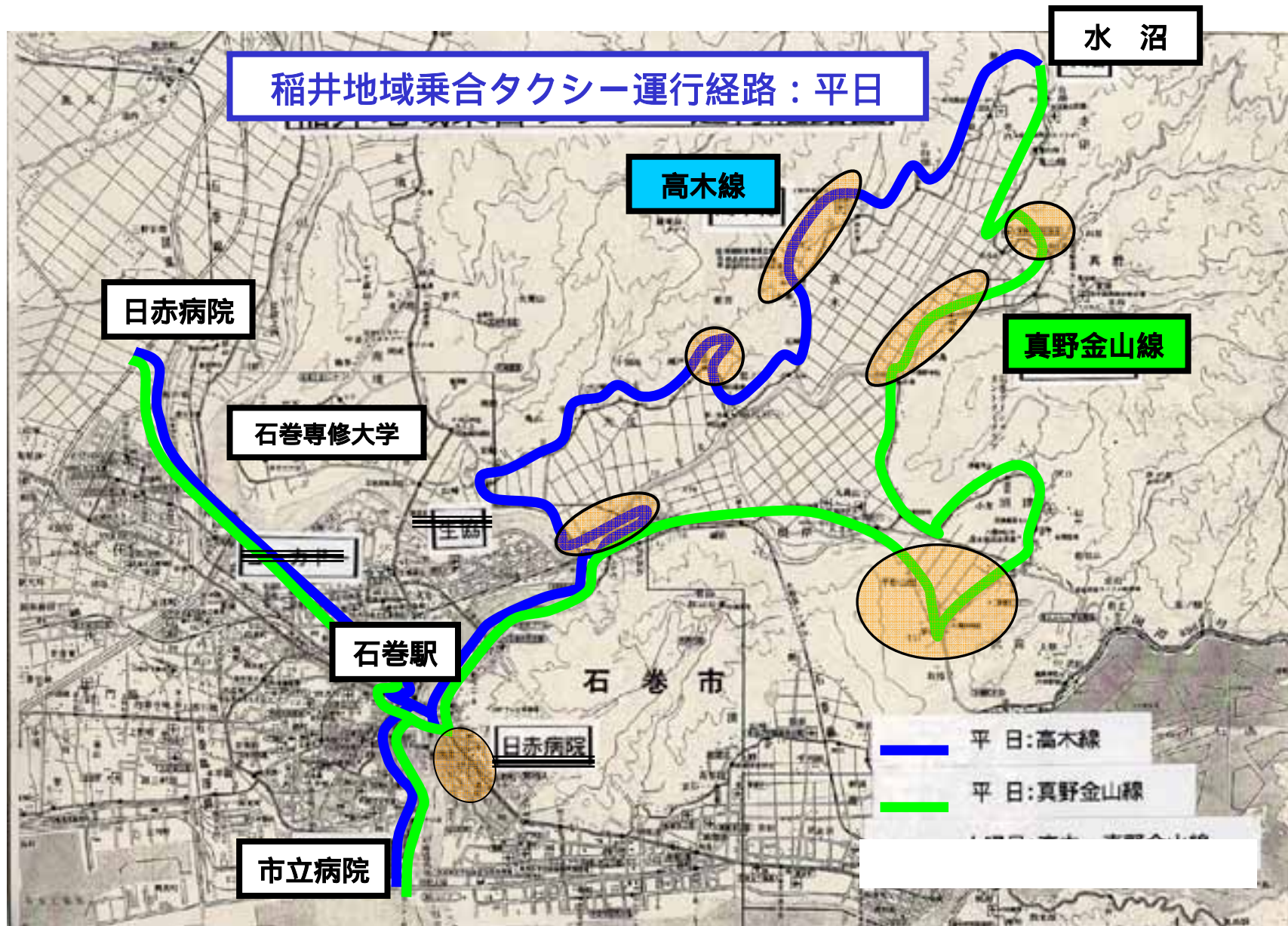
稲井地域乗合タクシー運行協議会

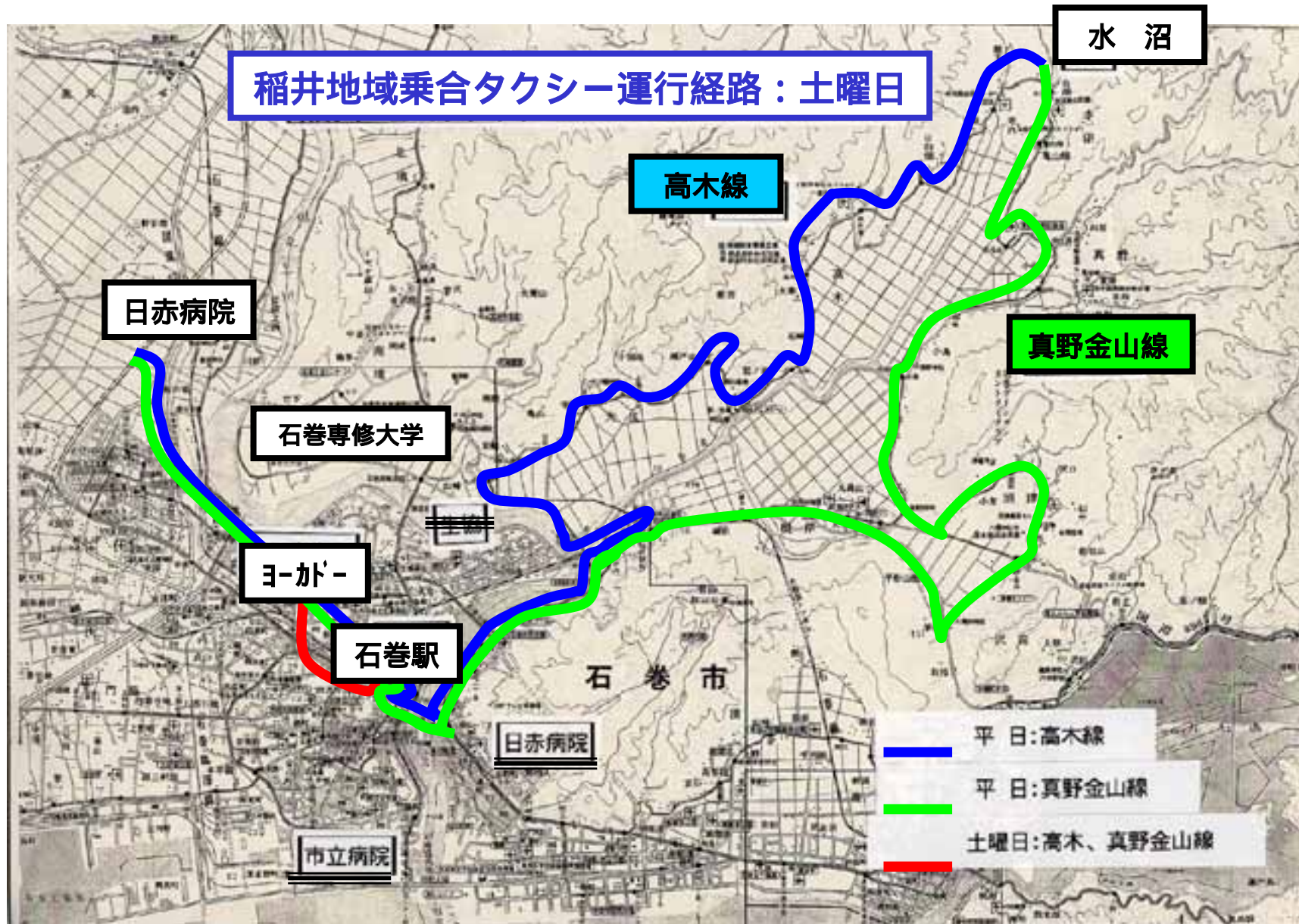
- ・ 設 立 平成16年9月1日
- ・ 構 成 稲井地区全18行政区長
- ・ 運行事業者 有限会社 三陸タクシー
(21条許可 4条許可)
- ・ 利用対象者 稲井地区に居住する方
- ・ 負担金 行政区負担金(18行政区)
世帯協賛金(地区内全世帯を対象)
- ・ 基本理念

“地域の足は地域自らが確保し、共に支え合う”

「いない号」の運行システム

- 1 運行開始 平成17年4月1日から
(試験運行平成16年12月1日から)
- 2 定員 9人乗り(ジャンボタクシー)
- 3 路線 高木線 真野・金山線
- 4 便数 平日 各路線 4往復
土曜日 高木線 2往復
真野・金山線 3往復
「定時定路線」
- 5 運賃 距離制 一人1回300円から900円
乗車時の現金前金払い





主な運行経路の風景

水沼地区

起・終点



水沼・亀山畑地区

高木東地区



水沼・平畑地区



稲井地域の風景







稲井地区



石巻駅前



市立病院

平日：起・終点

日赤病院前



土曜日の新たな運行経路



イトーヨーカドー中里店

土曜日:起・終点

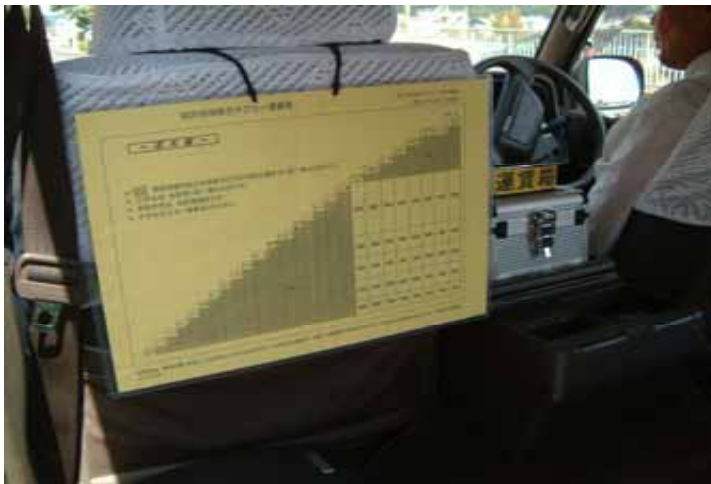
いない号



車両



車内乗降口



車内「運賃表」



車内「運賃箱」



本社屋

(有)三陸タクシー



無線室 ・ 事務室

「いない号」停留所標識



乗降所標識ポール



「いない号」利用の特徴

稲井地域内は、乗降フリー区間である。
バスと同じように、予約することなく気軽に利用できる。

乗車定員(9人)を超える利用がある場合は、即時、小型タクシーを追加配車し対応する。

「いない号」の利用状況

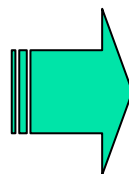
代替バス

平日

1日平均 46人
(各平均3.5往復)

土曜日

1日平均 16人
(各平均3.5往復)



いない号

平日

1日平均 54人
(各4往復)

1便平均 3.4人

土曜日

1日平均 23人
1便平均 2.3人
(平均2.5往復)

平成19年度 収支決算

(単位:円)

収 入	科 目	決 算 額	摘 要
	運賃収入	6,748,100	利用者運賃収入
	運行協議会	999,400	行政区負担金・世帯協力金
	市補助金	2,210,944	石巻市(欠損額を補助)
	雑収入	4,142	
	合 計	9,962,586	

支 出	科 目	予 算 額	摘 要
	運行費	9,957,500	運行委託料
	会議費	2,700	定例会等
	事務費	2,386	事務用品、運行日誌等用紙
	諸費	0	
	予備費	0	
	合 計	9,962,586	



乗合タクシーの特徴

次の内容などについて、自由に決めることができる。

運行経路

停留所

運行時刻，運行回数

運賃など

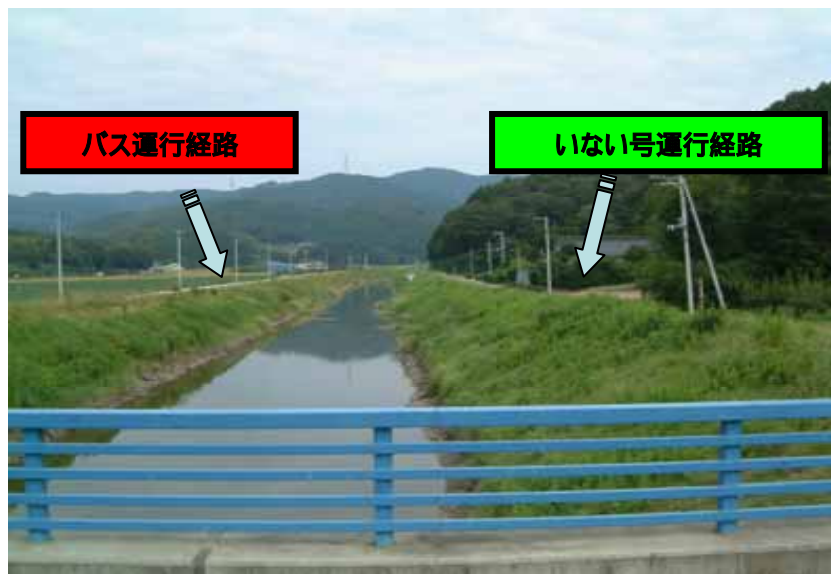
なお、路線バスが運行している地域は制限がある。



「いない号」導入による効果

利便性(その1)

- ・ 車両の小型化により,住宅により近い生活道路を運行できる。
- ・ 同様に,バスでは入れなかった地区を新たに運行することができた。
- ・ 日赤病院など乗り換え無しで行けるようになった。



身近な生活関連道路



バス運行経路



いない号運行経路

新たに乗入れした地区





「いない号」導入による効果

利便性(その2)

- ・ 買い物コースを新たに設けることができた。(土曜日のみ)
- ・ 運行便数を増便することができた。
- ・ バス運賃と同額程度で利用できる。



「いない号」導入による効果

経費

- ・ バス運行経費(約2千3百万円)の半分以下の経費で運行することができた。
- ・ 市の補助金(約1千5百万円)を大幅に削減することができた。
- ・ 予約制ではないことから、オペレーションシステムなどの設備費がかからない。



「いない号」導入による効果

その他

- ・ 稲井地区1世帯あたりの平均負担額
年間約600円

「マイバス精神 自分たちのバス」
による愛着と利用促進
地域の足は地域自らが確保し、共に
支え合う



今後の問題・課題

- ・ 地元負担金、協力金について今後も継続して協力を得ること
- ・ 未運行地区(新栄地区等)への乗り入れ
- ・ 合併後,他地域(旧町)の独自交通施策との整合性 **「石巻市総合交通計画」**

今後乗入れについて検討を要する地区

